香芝市立三和小学校 学校通信8号 令和7年||月|8日 発行 校長 高井 海彦





靴下工場見学(3年)

3年生は地域の靴下工場「日本ニット」に見学に行かせていただきました。工場では、靴下を作る工程を説明してもらったり、靴下を作る機械を見せてもらったりしました。働く人のやりがいや大変さ、工夫されていることなどについても教えていただきました。







ネットノテラシー教室(5・6年) ネットスマホ教室(3・4年

インターネットやスマートフォンに潜む危険なことを知ってもらい、 使うときに気を付けなければならいことを5・6年生、3・4年生、そ れぞれに学習しました。便利なネットやスマートフォンを正しく安全に 使えるようになってほしいです。



木の皮むき体験(4年)

4年生の「総合的な学習の時間」の森林教育の一環として、都祁の山から間伐材をいただいてきて、木の皮むき体験を行いました。まずは教頭先生からなぜ間伐を行うのか、間伐によって木がどうやって育っていくのかについてお話をしてもらった後に、その木の皮むきに挑戦しました。

幹と皮の間に竹べらを差し込んで滑らせるとスルスルと皮がめくれていきました。皮をめくると、きれいなツルツルの丸太になりました。切りたての木はとてもみずみずしく、触るとひんやりしていました。この丸太は来年の野外活動まで学校で乾燥させ、薪にして野外炊飯やキャンプファイヤーに使う予定です。









☆辛ラリさん 見つけた☆ 毎日、学校で過ごしている中で私が見つけた、子どもたちのがんばる姿やすてきな姿を紹介していきます。

学校では、好き嫌いをせず、残さずに給食を食べようと声をかけています。それぞれの学級では作っていただいた給食を完食できるようにがんばっています。給食が終わると食缶やボウル、食器などを給食室に返しに行くのですが、その時に、たくさんの人が大きな声で「ごちそうさまでした!」「ありがとうございました!」と言って返しています。中には「おいしかったです!」「今日はスープがおいしかった!」とか「野菜がおいしかったです!」などと言ってくれたりする人もいます。

調理員の皆さんは、毎日、安全でおいしい給食を食べてほしいと思って一生懸命調理してくださっています。なかなか調理員さんと会って話をすることは少ないと思いますが、残さず食べたり食器を返す時に声をかけたりすることで感謝の気持ちが伝えられるのではないでしょうか。